

農の架け橋

暖かくなってきましたね。季節の変わり目です。
体調管理に気を付けて作業しましょう！

「いばらき農の6次化商品コンテスト」で特別賞を受賞しました！

令和2年12月10日（木）、茨城県農業総合センターで「いばらき農の6次化商品コンテスト」が開催され、銚田市にある農業法人深作農園有限公司（代表：深作勝己氏）が出品した「茨城さつまいもの出逢い」と「ほしいも」の2点が特別賞を受賞しました。

「茨城さつまいもの出逢い」は、やきいもあんをサクサクのパイで包み込んだ商品で、食べやすく購入しやすい形状が評価されました。「ほしいも」は、自社生産にこだわった、しっかりとした食感や衛生管理・品質管理が評価されました。

また、令和3年1月25日（月）、普及センターで表彰状の贈呈式が実施されました。深作氏からは、「これからも6次産業化を通じて、サツマイモやイチゴ等の農産物を全国の方々にアピールして知ってもらえるよう頑張っていきたい」との目標が語られました。



受賞した深作氏



茨城さつまいもの出逢い



ほしいも

銚田市4Hクラブの活動を紹介します

銚田市4Hクラブは、平成28年12月に設立され、現在20代～30代の若手生産者13名で活動しています。クラブ員の経営品目は、葉物、メロン、イチゴ、トマトなど様々です。

主な活動として、月1回の定例会、クラブ員のほ場巡回、視察研修、直売活動を行っています。

・直売活動

11月21日（土）、リリーアリーナMITO（水戸市青柳公園体育館）で行われた第45回水戸市商工祭に出展し、銚田市産の野菜を景品にした野菜のくじ引き販売と、4Hクラブが共同ほ場で栽培したサツマイモを使用した焼き芋販売を行いました。

クラブ員からは「焼き芋の評判も良く、無事終わることができて良かった。コロナ禍のため様々な行事が中止になっていたが、今回の水戸市商工祭に参加したことで、銚田市のPRができたのではないかなと思う」との声が聞かれるなど、充実した取り組みとなりました。

今後も、若手農業者の仲間づくりや農業経営の学びの場となり、地域に根差した活動を目指す銚田市4Hクラブの活躍が期待されます。



水戸市商工祭の様子

銚田市4Hクラブに加入したい方、興味がある方は銚田普及センターまでご連絡ください。

(担当：地域普及第一課 有賀 TEL：0291-33-6197)

荒廃農地再生ほ場におけるカンショ安定生産に向けた取組

茨城県では、国内外で増加するカンショ需要に対応するため、荒廃農地を活用したカンショの生産拡大に取り組んでいます。

荒廃農地再生の取り組みとして、今年度はリン酸分の不足した放任樹園地ほ場において、土壌改良資材（苦土重焼リン）や有機物（豚ふん堆肥）を活用した土壌改良について検討しました。その結果、土壌改良を行うことで再生後作付1年目においても慣行の80%以上の収量確保が可能であり、特に苦土重焼リンの施用が収量・品質向上に有効であることが確認できました。

一方で、豚ふん堆肥を2t/10a以上施用した区において、つるぼけを引き起こしました。土づくりに有効な豚ふん堆肥ですが、活用する際はほ場の状態に合わせて1t/10a以下に抑えるなど施用量に注意する必要があります。

今後も荒廃農地再生ほ場でのカンショ栽培において有効な技術の実証を継続していきます。



再生前の様子



再生後の様子



挿苗後の様子



対照区



苦土重焼リン区



豚ふん堆肥区

塊根の様子（9月下旬掘取）

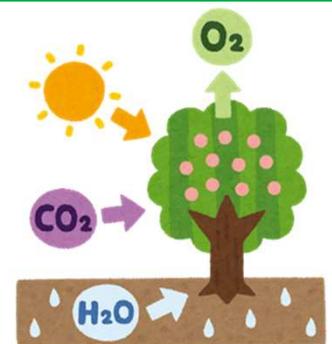
春先の施設栽培管理のポイント

3月以降は外気温が高まり、晴天日の日中気温差が大きくなる一方、曇雨天時は冬季のような低温となるため、施設内の環境を植物にとって好ましい状況に整える必要があります。



そのため、以下3つの管理を心がけましょう！

- ①適切な温度管理：天気予報と施設内温度を確認し、換気や暖房を使い分けて温度を調整します。急激な温度変化は植物にストレスになるため、徐々に変化するように努めます。
- ②病害虫管理：曇雨天時は施設内が高湿度となるため、灰色カビ病などが発生しやすくなります。暖房機や循環扇などで病害の出にくい環境を作ります。また、温度の上昇とともに害虫も急増する時期でもあります。薬剤散布は予防的に行うよう心がけましょう。
- ③肥培管理：日照、温度の影響により、生育の速度が急激に高まり、養水分の要求量が高まります。樹勢に注意するとともに、収穫や整枝剪定などの遅れに注意します。



～栽培にはきれいな水を使い、農機具・収穫容器の衛生と収穫物の鮮度保持に気をつけましょう！～